



令和5年5月号
杉並区立堀ノ内子供園
園長 高橋 章子

地域に育つ子どもたち

園長 高橋 章子

今年、子供園は町会の皆様のご厚意で、新しく作ったこいのぼりを善福寺川に飾りました。これは昨年度の年長組が作成したものです。

一人ひとりが、布用のクレヨンを使って、丁寧にこいのぼりのヒレの模様を描きました。4月22日からこのこいのぼりが善福寺川で元気に泳ぐことを、私たちも楽しみにしていました。

先日年長組を連れて散歩に出かけ、子どもたちが作ったこいのぼりを含め、たくさんのこいのぼりを見てきました。

こいのぼりは、大宮小学校・済美小学校・済美養護学校など近隣の学校の作品も一緒に飾られています。ジョギングや散歩、リハビリなどで川沿いを通りかかった見ず知らずの方たちが、同じ場所で立ち止まり、ゆっくりとこいのぼりを見上げることで、ちょっとした挨拶や会話がうまれます。それが毎年恒例になって、人と人をつないでいく機会になります。そこに、子どもたちの作ったこいのぼりが泳いでいることに、何とも誇らしい気持ちになりました。

昨年度新たに策定された「杉並区教育ビジョン2022」～みんなのしあわせを創る杉並の教育～の文言の中に、『地域みんなが子どもの成長を見守り続けることにより、子どもには共に生きる社会の一員としての意識が芽生えていく。大人にとっては、こうした子どもへのかかわりを通して、次代に対する責任感を一層高める機会となります。』と記されています。毎年恒例となっている、こどもの日にちなんだこいのぼりは、地域の皆さんが子どもたちの成長を願って飾ってくださっているものです。地域に見守られ大きく育っていく子どもたちが、さらに次の世代の子どもたちに同様につないでくれることと思います。

子供園は、この他に大宮小学校の児童や先生方との交流、お正月の獅子舞体験、コロナ禍以前はお茶の体験も地域の方の協力のもと行ってきました。

今年度も、子どもたちは地域の皆様に育てていただいています。



行事予定

◆：※グループ午前保育 ③：うさぎ組 ④：ぱんだ組 ⑤：きりん組

日	曜	5月の行事予定	日	曜	6月の行事予定
1	月	③④⑤体重測定 [Ⓐ]	1	木	歯科検診
2	火		2	金	安全指導（高井戸警察の指導）
3	水	憲法記念日	3	土	
4	木	みどりの日	4	日	
5	金	こどもの日	5	月	避難訓練
6	土		6	火	ごっこ活動
7	日		7	水	アイアイ ◆：研究会参加のため
8	月	安全指導 ⑤視力検査始 [Ⓑ]	8	木	④⑤口腔指導
9	火	避難訓練 ⑤尿検査容器配布 [Ⓑ] 新入園児の一時保育始 ⑤保育参加参観始 [Ⓓ]	9	金	
10	水	⑤遠足 [Ⓔ] ③④尿検査容器配布 [Ⓑ] ③個人面談始 [Ⓒ] アイアイ [Ⓔ]	10	土	
11	木	内科検診 [Ⓑ]	11	日	
12	金	尿検査回収日 [Ⓑ]	12	月	③④⑤体重測定 共立女子大生教育実習始
13	土	親子で遊ぼう [Ⓕ] PTA総会 全体保護者会	13	火	
14	日		14	水	井村隊長との運動遊び
15	月	※グループ振替休業日	15	木	
16	火		16	金	
17	水		17	土	
18	木		18	日	
19	金		19	月	
20	土		20	火	プール指導始
21	日		21	水	アイアイ
22	月		22	木	
23	火	④⑤誕生会	23	金	教育実習終
24	水	◆：研究会参加のため 眼科検診	24	土	
25	木	耳鼻科検診 [Ⓑ] （12:45～） アイアイ [Ⓔ]	25	日	
26	金	③誕生会 (⑤遠足予備日)	26	月	
27	土		27	火	
28	日		28	水	④⑤誕生会
29	月		29	木	③誕生会
30	火	④⑤井村隊長との運動遊び ④保育参加参観始 [Ⓓ]	30	金	
31	水				

・今月の指導・

うさぎ組

入園式から約1か月が経ちました。笑顔で元気に登園する姿が増え、子供園を楽しんでいる様子が感じられます。子供園で毎日過ごす中で、少しずつ身支度の仕方を知り、持ち物の始末や弁当の準備を頑張る姿も見られるようになってきました。毎日繰り返しやってみることで「できた！」という嬉しさを積み重ね、自分でできるようになる喜びを感じ、自信をもって生活できるようにしていきます。

今月は次のことを重点に指導していきます。

- **保育者と一緒に好きな遊びを見付けて遊ぶ。**
- **朝や帰りの支度・弁当の手順や片付けなど、生活の進め方を知り、保育者に手伝ってもらいながらやってみようとする。**

連休が明けると、また寂しい気持ちが出てきて、保護者の方に甘える姿が出てくるかもしれません。園では、お子さんの気持ちを受け止め、一緒に過ごす中でやりたい遊びを見付け、「楽しかった！」という思いで降園できるようにしていきます。ご家庭でも、お子さんの気持ちを受け止めながらゆったりと過ごしてください。少しずつ、園での生活リズムを取り戻していきましょう。

ぱんだ組

入園・進級して約1ヶ月が過ぎ、少しずつぱんだ組での生活に慣れてきました。保育者に「見てみて！」と見付けたことや楽しかったことを話し、笑顔も増えてきています。室内遊びでも戸外遊びでも自分のしたい遊びを見付けて、保育者や気の合う友達と一緒に楽しんでいます。

今月は次のことを重点に指導していきます。

- **自分の好きな場所や好きな遊びを見付けて楽しむ。**
- **先生や友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。**
- **身の回りの始末を保育者と一緒にやろうとする。**

ぱんだ組での生活に慣れてきていますが、まだ緊張していたり、今まで頑張ってきたりしたことで、疲れが出ることもあるかもしれません。園では、子どもたち一人ひとりの気持ちを受け止めて、温かい雰囲気の中で生活ができるようにしていますが、ご家庭でも思いを受け止めて、共感してあげてください。そして、笑顔で子供園に送り出していただきたいと思います。

きりん組

きりん組になったという喜びから、いろいろな活動に積極的に取り組むきりん組。歓迎会では、うさぎ組やぱんだ組に「おめでとう」の気持ちを込めてプレゼントを作りました。気持ちを込めて歌を歌ったり司会に取り組んだりする中で、「ドキドキした!」「緊張した」と言う姿もありましたが、活動を通して”きりん組になったぞ!”という嬉しい気持ちも経験していました。また、学級のみんなで作ったこいのぼりでは、「みんなで作るときれいだね」「大きいこいのぼりが作れてうれしいね」と力を合わせて作った満足感を感じています。

今月は次のことを重点に指導していきます。

- **簡単なめあてをもって好きな遊びを自分なりに楽しんだり、気の合う友達と一緒に進めていこうとしたりする。**
- **少人数のグループや学級のみんなで一緒に遊びや活動に取り組むことを楽しみ、つながりを感じる。**

年長組になったぞ!という気持ちで様々なことに張り切って取り組んでいます。疲れも出始めています。ご家庭ではお子さんの気持ちを受け止め、時にはゆったりした時間を設けて楽しくお過ごしください。